

厚生労働科学研究費補助金(エイズ対策政策研究事業)
拠点病院集中型から地域連携を重視した HIV 診療体制の構築を目標にした研究
分担研究報告書

研究課題 千葉県内の HIV 感染症患者の地域分布と受診行動 地域連携にむけた基盤調査

研究代表者 猪狩英俊 千葉大学医学部附属病院 感染制御部長 准教授
研究分担者 谷口俊文 千葉大学医学部附属病院 講師
研究分担者 高柳 晋 千葉大学医学部附属病院 助教

研究要旨：

HIV 感染症患者の地域連携を検討する基盤調査である。千葉県内で自立支援医療を申請している HIV 感染症患者の患者分布と受診行動を調べた。2017 年の HIV 感染症患者は 1244 名であった。患者数の多い上位 5 市(千葉市、市川市、船橋市、松戸市、柏市)を対象とした。この 5 市で千葉県内の総患者数の 53.9%を占めた。いずれも 40 歳代の患者が多く、50 歳以上の患者が占める割合は、31%から 45%であった。HIV 感染症患者の高齢化が予想される年齢分布であった。

医療体制としては、2 つの拠点病院が HIV 感染症患者の診療を行っている千葉市の場合は、HIV 患者は 191 名で、136 名(71.2%)が千葉市内の病院を受診していた。地域連携の基盤が整備されていると考えられる。しかし、東京に隣接した他の 4 市では、HIV 感染症患者数は 405 名と多くいるが、千葉県内の医療機関を受診しているのは 133 名(32.8%)であった。大部分は東京の医療機関を受診していることが確認された。これらの患者は、地域の潜在的 HIV 感染症患者であり、高齢化に対応できる医療体制の整備の課題になると考えられた。

研究分担者 猪狩英俊、谷口俊文、高柳 晋
所属研究機関 千葉大学医学部附属病院
感染制御部長

A. 研究目的

HIV の感染症患者の地域連携を検討するため、HIV 感染症患者の千葉県内の地域分布を調べる。また、HIV 感染症患者が多いと考えられる地域(千葉市、船橋市、柏市、松戸市、市川市)の HIV 感染症患者の受診動向を調べる。

B. 研究方法

1 自立支援医療の申請(免疫機能障害)の申請状況を元に、市町村単位の HIV 感染症患者の居住地域を確認する。千葉県疾病対策課に依頼し情報提供を受ける。
2 上記の 5 市は HIV 感染症患者が多いことが推定されており、上記 1 の調査によって確認することができた。5 市の自立支援医療を担当する部署に依頼し、以下の情報提供をうけた。1) 年齢(10 歳刻み)、2)性別、3)受診医療機関、4)自立支援医療の申請年(可能な場合) 5) 治療薬(可能な場合)
なお、千葉市については千葉市障害者医療センターを直接訪問し、書面でのデータを確認し、記録した。このため、千葉大学大学院の倫理審査を受審し、承認をうけた。

C. 研究結果

1 千葉県内の HIV 感染症患者の地域分布(2017 年)
1) 千葉県内で自立支援医療を申請し、HIV 感染症治療を行っている患者は 1244 人であった。

2) 年齢階級別では、

18 歳未満	0 人(0%)
18 歳以上 40 歳未満	328 人(26.4%)
40 歳以上 65 歳未満	774 人(2.2%)
65 歳以上	142 人(11.4%)

3) 市町村別(図 2)

千葉市	185 人
市川市	147 人
船橋市	140 人
松戸市	110 人
柏市	89 人
浦安市	61 人

等であった。

1)から 3)の詳細については別紙に記載。(表 1)(表 2)(図 1)は、地域別患者数と拠点病院を地図上に示した。(図 2)は、10 例以上の患者数がある市町村を示した。(図 3)保健所単位の患者数をグラフ化したものである。

図1エイズ治療拠点病院 身体障害 免疫機能障害1244人

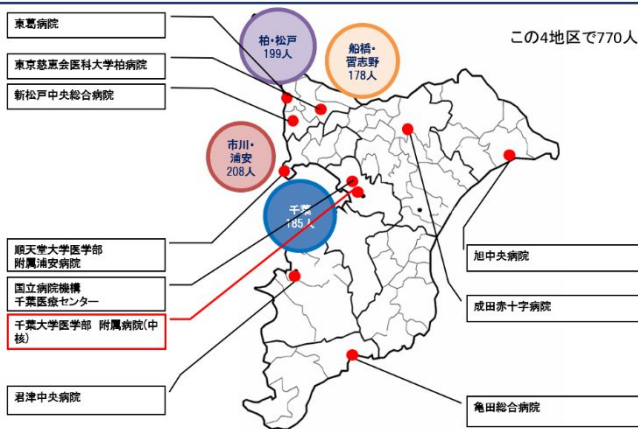


図4 千葉市(N=191)

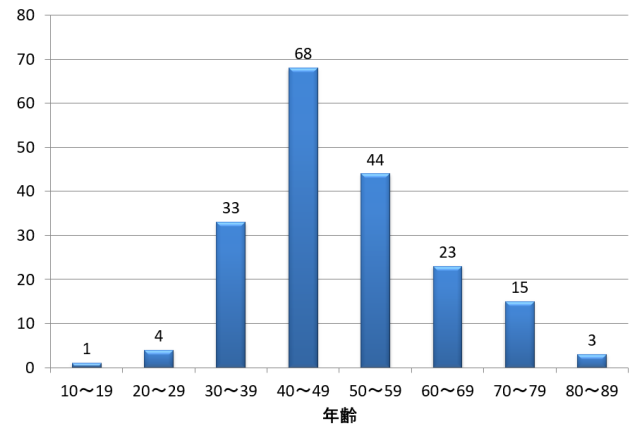


図2 10例以上のHIV患者がいる市町村

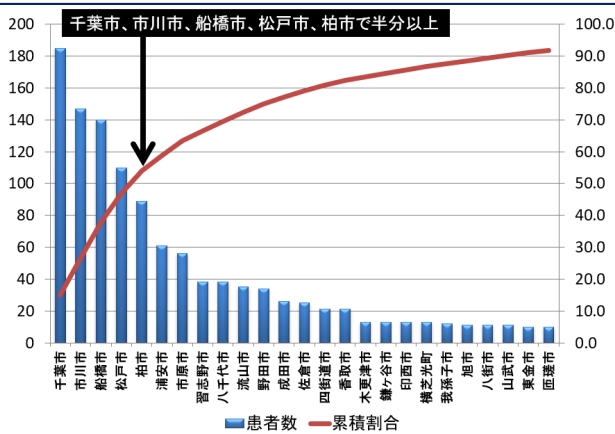


図5 船橋市(N=136)

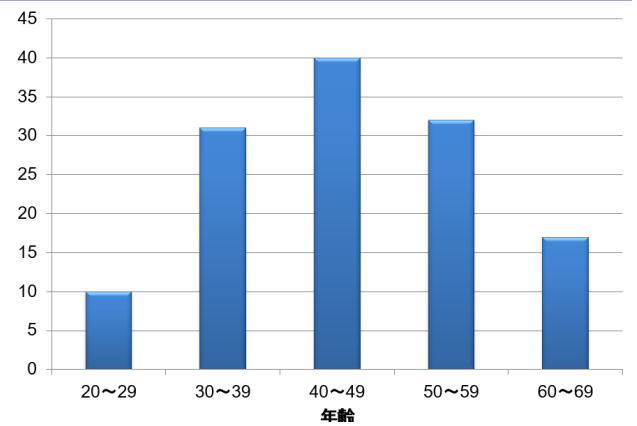


図3 行政単位(保健所)のHIV患者数

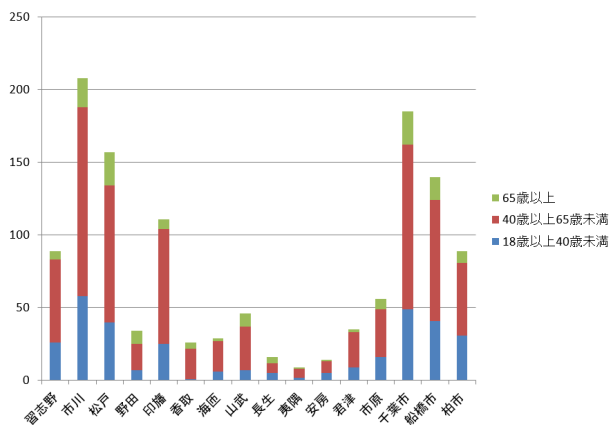
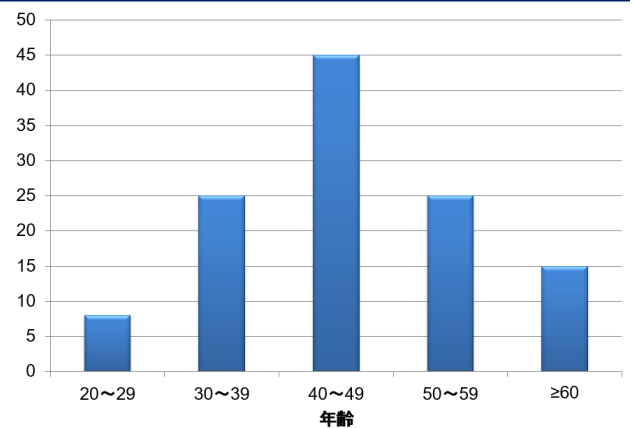


図6 市川市(N=118)



2 上位 5 市における HIV 感染症患者の年齢分布と受診行動

1) 千葉市、船橋市、市川市、松戸市、柏市の HIV 感染症患者の年齢分布をとると 40 歳代にピークがあった。(柏市は年齢の刻みかたが異なる) (図 4)から (図 8)

図7 松戸市(N=64)

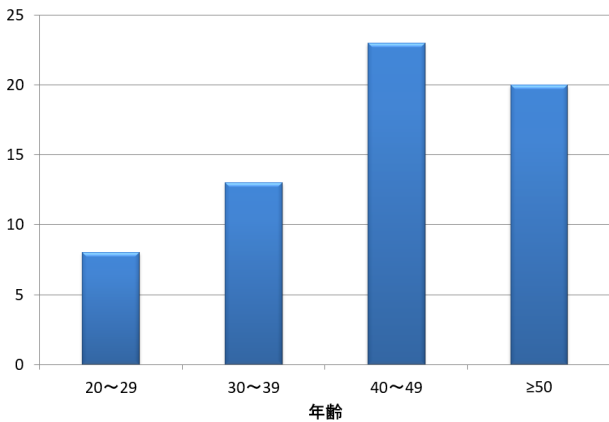
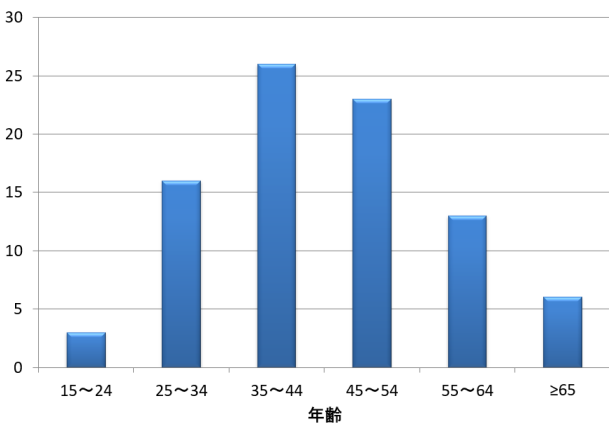
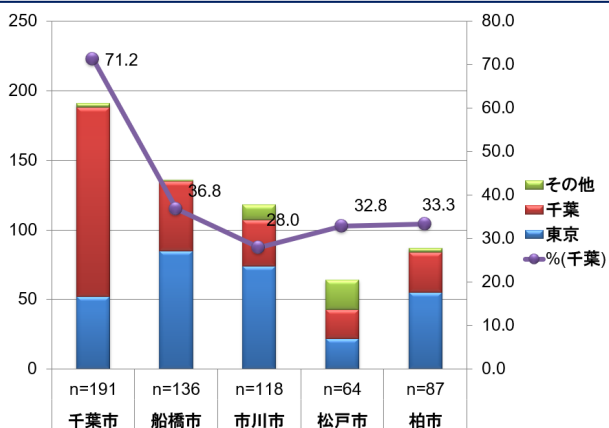


図8 柏市(N=87)



2) 受診医療機関(千葉県内、東京、その他に3区分)を調査した。千葉市には191名のHIV感染症患者があり、136名(71.2%)が千葉県内の医療機関を受診していた。東京に隣接した他の4市では405名のHIV感染症患者があり、133名(32.8%)が千葉県内の医療機関を受診していた。4市ではばらつきはあるが、千葉県内の医療機関を受診しているのは28%から37%という結果であった。東京依存型の受診行動をとっていることが示された。(図9)

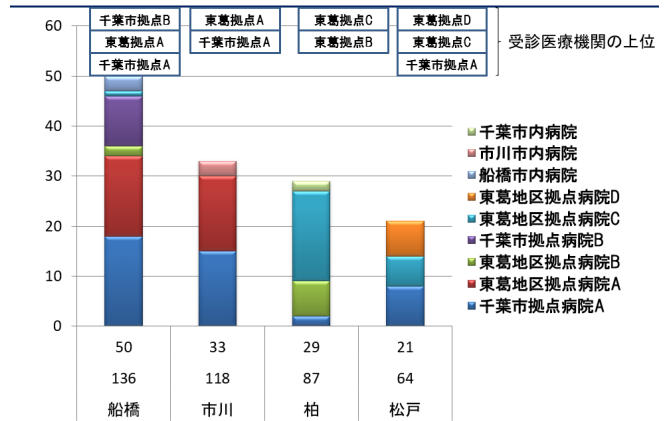
図9 千葉県で治療を受けるか、東京等で治療を受けるか



3) これら4市のHIV感染症患者のうち、千葉県内

受診患者が通院する病院を調べた。(図10) 柏市、松戸市はエイズ拠点病院があり、HIV感染症患者の受け皿になっている。船橋市と市川市にはエイズ拠点病院がない。このため、千葉県内受診者であっても、他の自治体にある拠点病院が診療を行っていることがわかった。

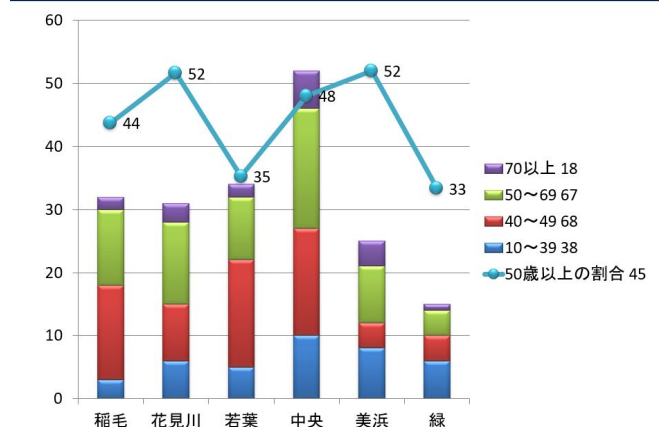
図10 受診医療機関 千葉県受診者限定



3 千葉市のHIV感染症患者の詳細

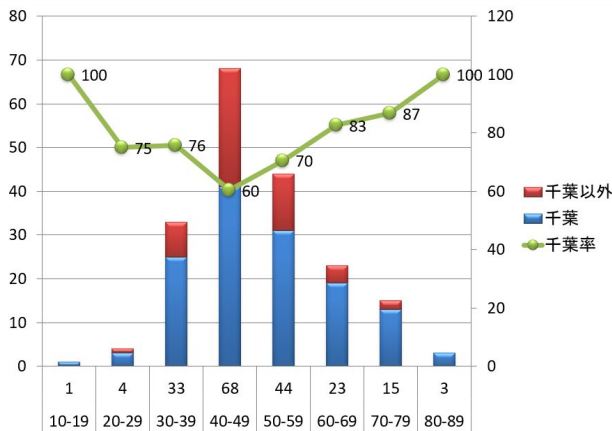
1) 区別に年齢構成をみると、50歳以上の患者割合に違いがみられた。(図11)

図11 年齢構成 千葉市区単位



2) 年齢別の受診行動をみた。40歳台のHIV感染症患者で千葉県内の医療機関を受診しているのは60%であり、多くは東京の病院を受診していることがわかった。しかし、40歳より若年層、50歳以上の高齢層では、千葉県内の医療機関を受診する者が増える。(図12)

図12 年齢別 受診病院、千葉か、東京か



3) 千葉県内の受診病院は、千葉大学医学部附属病院と国立病院機構千葉医療センターを受診している。この両病院の受診患者は 118 名であり、61.8%をカバーしている。千葉県外の受診病院は、すべて東京都内の医療機関であった。

D. 考察

HIV 感染症患者の高齢化と HIV 拠点病院集中型の医療体制を見直すことを課題に掲げた研究である。千葉県内の HIV 感染症患者は 40 歳台が最も多くなっている。強力な抗ウイルス療法を継続して受けることにより、50 歳以上の患者が確実に増加すること改めて確認した。

HIV 感染症患者が受診する医療機関を分析すると、2 極化がみられた。HIV 感染症患者が多い都市部(千葉市、船橋市、市川市、松戸市、柏市)での患者分布と受診行動を調査した。

千葉市では、HIV 感染症患者の 71.2%が千葉県内の医療機関、多くは千葉市内を受診していた。千葉大学医学部附属病院と国立病院機構千葉医療センターが大部分の患者の受け皿となり、地域完結型の医療体制を構築していると考えられる。今後、HIV 感染症患者の高齢化が進行した場合、これらの病院が核となり地域連携を進める基盤ができている。

しかし、40 歳台の HIV 感染症患者に限定すると 40%は東京の医療機関を受診している。この年代の患者が高齢化した場合、千葉市に戻ってくる可能性がある。東京の医療機関との密接な連携と受け入れ体制が必要である。

一方、他の 4 市(船橋市、市川市、松戸市、柏市)の場合は、3 人に 1 人は東京の医療機関を受診していることが確認され、東京依存型の HIV 診療であることを確認した。自立支援の手続き上では把握されているが、地域の医療機関では認知されていない、潜在的 HIV 感染症患者とも言える。

この患者層も高齢化した場合には、地元に戻ってくる可能性がある。現状の医療体制は、潜在的 HIV 感染症患者を過小評価したものになっている。

このような潜在的 HIV 感染症患者の存在を確認し、高齢化に備えた医療体制の準備が必要である。船橋市と市川市には、HIV 拠点病院がない。このため、両市の患者の受診行動をみると、東京依存型である。また、千葉県内受診者の医療機関であっても、市外の病院への依存型になっている。

HIV 感染症患者の高齢化が進んだ場合、癌、心臓疾患、糖尿病等の生活習慣病に対する診療が課題になる。その場合の医療体制のモデルとして、HIV 拠点病院が中心になって、地域の医療機関の相談・指導を行うことが想定される。このような視点からみると脆弱な HIV 診療体制になっている。

E. 結論

千葉県内の HIV 感染症患者は 40 歳台が最も多く、高齢化が確実に起こってくる。医療体制としては、HIV 感染症患者の多くが市内の HIV 拠点病院を受診している千葉市の場合は、地域連携の基盤が整備されている。

しかし、東京に隣接した地域では、HIV 感染症患者が多いが、その大部分は東京の医療機関を受診しているという現象が起こっている。このような潜在的 HIV 感染症患者の存在を認知し、高齢化に対応できる医療体制の整備を進めていくことが課題になる。

F. 健康危機情報

総括研究報告者に記載

G. 研究発表

1. 論文発表 なし
2. 学会発表 なし 今後、日本エイズ学会等で発表する予定。
3. 行政機関での発表
 - 2018 年 8 月 17 日 平成 30 年度第 1 回野田市介護サービス向上連絡会 (野田市役所) HIV 感染症と介護
 - 2018 年 10 月 1 日 平成 30 年度高齢者施設を対象とした感染症対策研修会 (場所 印旛健康福祉センター 印旛保健所) 高齢者施設で問題となる感染症
 - 2018 年 10 月 31 日 高齢者施設に対する HIV 感染治療の現況及び施設受け入れに等に関する啓発についての研修会 (場所 山武保健福祉センター 山武保健所) HIV 感染症と高齢化
 - 2019 年 2 月 8 日 千葉県 HIV 拠点病院会議(場所 国立病院機構千葉医療センター) 拠点病院集中型から地域連携を重視した HIV 診療体制の構築
 - 2019 年 02 月 27 日 平成 30 年度 HIV 対策研修会 (場所 船橋市保健福祉センター 船橋保健所) HIV 感染症の最近の動向
 - 2019 年 03 月 04 日 平成 30 年度 第 6 回 千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会勉強会(場所

千葉大学医学部附属病院) HIV 感染症って何？
今、何が困っているの？

H. 知的財産権の出願・登録状況
なし

表1 市町村別、免疫機能障害で自立支援医療の申請を行っている者の数(2017)

市町村	18歳未満	18歳以上 40歳未満	40歳以上 65歳未満	65歳以上	合計	%
千葉市	0	49	113	23	185	14.9
市川市	0	38	91	18	147	11.8
船橋市	0	41	83	16	140	11.3
松戸市	0	26	67	17	110	8.8
柏市	0	31	50	8	89	7.2
浦安市	0	20	39	2	61	4.9
市原市	0	16	33	7	56	4.5
習志野市	0	11	24	3	38	3.1
八千代市	0	12	24	2	38	3.1
流山市	0	11	19	5	35	2.8
野田市	0	7	18	9	34	2.7
成田市	0	5	18	3	26	2.1
佐倉市	0	7	17	1	25	2.0
四街道市	0	3	17	1	21	1.7
香取市	0	1	18	2	21	1.7
木更津市	0	5	6	2	13	1.0
鎌ヶ谷市	0	3	9	1	13	1.0
印西市	0	4	9	0	13	1.0
横芝光町	0	1	10	2	13	1.0
我孫子市	0	3	8	1	12	1.0
旭市	0	2	7	2	11	0.9
八街市	0	1	9	1	11	0.9
山武市	0	1	6	4	11	0.9
東金市	0	2	6	2	10	0.8
匝瑳市	0	2	8	0	10	0.8
君津市	0	1	8	0	9	0.7
大網白里市	0	1	8	0	9	0.7
銚子市	0	2	6	0	8	0.6
茂原市	0	4	3	1	8	0.6
袖ヶ浦市	0	2	6	0	8	0.6
鴨川市	0	2	3	1	6	0.5
富里市	0	0	6	0	6	0.5
富津市	0	1	4	0	5	0.4
館山市	0	2	2	0	4	0.3
南房総市	0	1	3	0	4	0.3

いすみ市	0	0	3	1	4	0.3
酒々井町	0	3	1	0	4	0.3
東庄町	0	0	2	2	4	0.3
白井市	0	2	0	1	3	0.2
睦沢町	0	0	1	2	3	0.2
勝浦市	0	1	1	0	2	0.2
栄町	0	0	2	0	2	0.2
九十九里町	0	1	0	1	2	0.2
一宮町	0	1	1	0	2	0.2
大多喜町	0	1	1	0	2	0.2
多古町	0	0	1	0	1	0.1
芝山町	0	1	0	0	1	0.1
白子町	0	0	1	0	1	0.1
長柄町	0	0	1	0	1	0.1
長南町	0	0	0	1	1	0.1
御宿町	0	0	1	0	1	0.1
神崎町	0	0	0	0	0	0.0
長生村	0	0	0	0	0	0.0
鋸南町	0	0	0	0	0	0.0
合計	0	328	774	142	1244	100.0
		(23.4%)	(65.2%)	(11.4%)		

表2 行政区域(保健所別、免疫機能障害で自立支援医療の申請を行っている者の数(2017)

市町村	18歳未満	18歳以上40歳未満	40歳以上65歳未満	65歳以上	合計	%
習志野	0	26	57	6	89	14.9
市川	0	58	130	20	208	11.8
松戸	0	40	94	23	157	11.3
野田	0	7	18	9	34	8.8
印旛	0	25	79	7	111	7.2
香取	0	1	21	4	26	4.9
海匝	0	6	21	2	29	4.5
山武	0	7	30	9	46	3.1
長生	0	5	7	4	16	3.1
夷隅	0	2	6	1	9	2.8
安房	0	5	8	1	14	2.7
君津	0	9	24	2	35	2.1
市原	0	16	33	7	56	2.0
千葉市	0	49	113	23	185	1.7
船橋市	0	41	83	16	140	1.7
柏市	0	31	50	8	89	1.0
合計	0	328 (23.4%)	774 (65.2%)	142 (11.4%)	1244	100.0